

## 台湾専利出願案越境オンライン面接



聖島国際特許法律事務所

(Saint Island International Patent & Law Offices)

梁 弘逸

弁理士

聖島国際特許法律事務所は1974年に創設され、約50年に亘り培った専門知識と経験により、国際的な知的財産・法律分野における、包括的な業務を担っている。梁弁理士は、2011年から聖島国際特許法律事務所に勤務し、鋼鉄製造、金属材料、セラミック材料、半導体プロセス、太陽電池に係る分野の特許案件の出願・権利化業務、審査情報の監視業務、有効性分析・侵害鑑定業務において豊富な経験を有する。

### 【概要】

専利（特許、実用新案、意匠）の審査過程では、出願内容に対する審査官の理解を深め、より適切な審査を行うことができるよう、出願人等（出願人またはその従業員、発明者等を含む）あるいは代理人は、面接を申請し、審査官に対して、発明・考案・創作の要点を直接説明することができる。台湾經濟部智慧財産局（以下、TIPO）は、近年の新型コロナウイルス感染症などの影響により、直接TIPOに面接に出向くことが困難となるなどの社会情勢の変化に鑑み、2022年3月1日から、新たに「専利出願案越境オンライン面接（中国語：専利申請案跨國就地遠距視訊面詢）」の措置を導入した。

当該措置は、出願人等、代理人、審査官の三者間での越境オンライン面接（以下、オンライン面接）を提供するものであり、例えば、日本にいる出願人等や台湾に事務所を有する代理人がそれぞれ自ら選択した適切な場所において、審査官と、オンラインにて面接を行うことを可能とするものである。これにより、出願人等や代理人は、直接TIPOに出向く必要がなくなることから、移動時間・コストを節約できるだけでなく、国外にいる出願人等が、審査官の考えを直接理解し、技術内容をより詳しく説明することができるというメリットがある。この措置は、面接を希望する出願人等および代理人に、より便利な選択肢を提供するものであり、専利の権利化において大いに役立つことが期待される。

## 【詳細】

この措置の施行に伴い、TIPO は「専利案件面接作業要点」の規定を改正した。その内、オンライン面接に関する運用のポイントは以下のとおりである。

### 1. 適用案件

オンライン面接は、初審査<sup>1</sup>または再審査段階にある専利出願案件に適用され、無効審判案件には適用されない。

### 2. 申請における留意点

オンライン面接の申請方法は、一般の面接とほぼ同じであり、異なる点は以下の2点である。

- (1) 専利面接申請書の質問項目「オンライン面接（中国語：視訊面詢）」の「越境オンライン面接を申請するか（中国語：是否申請遠距視訊面詢）」において「はい（中国語：是）」を選択し、越境オンライン面接を希望することを表明する。
- (2) オンライン面接の申請者は、専利面接申請書に、遠隔オンライン操作のためのメールアドレスと連絡先電話番号を記載する。

TIPO は、専利面接申請書の受領後、オンライン面接を行うか否かを決定し、その旨を通知する。

---

<sup>1</sup> 日本でいう「最初の拒絶理由通知」とは相違する。

<https://www.globalipdb.inpit.go.jp/application/20065/>

### 3. オンライン面接の実施に適した場所

オンライン面接を円滑に進め、秘密を保持するため、オンライン面接を実施する場所は以下の条件を満たす必要がある。満たさない場合は、TIPO は面接を実施しない。

- (1) 公共の場ではない場所（例：出願人の自宅、代理人の事務所等）であること。
- (2) 「TIPO が規定するソフトウェア・ハードウェア」を備え、オンライン面接を行うことができ、面接記録を受信・送付可能な場所であること。
  - ①ソフトウェア：Cisco Webex Meetings（以下、面接用ソフト）。
  - ②ハードウェア：マイク、スピーカー、Web カメラを備えたパソコン等。
- (3) オンライン面接の質を保つために最低限必要なネットワーク通信速度は以下のとおりである。

画質	受信	送信
HD ビデオ（High Definition Video：720p）	2.5 Mbps	3.0 Mbps
高画質ビデオ（High Quality Video：360p）	1.0 Mbps	1.5 Mbps
標準画質ビデオ（Standard Quality Video：180p）	0.5 Mbps	0.5 Mbps

### 4. オンライン面接の流れと記録

- (1) 面接の開始時に、本人確認のため、Web カメラに向けて、出席者それぞれ以下の証明書を提示し、審査官がスクリーンショットにて当該資料を保存する。これをもって出席者を確定するものとし、途中参加は認められない。
  - ①出席者全員：身分証明書
  - ②代理人：委任状

- (2) 面接を行う際、まず、審査官が面接事項と質疑応答の要点を読み上げ、面接内容の確認を行う。
- (3) 面接における証拠または文献の提示は、以下の方法にて行う。
  - ① Web カメラの前で、直接証拠または文献を提示する。
  - ② 面接用ソフトの「ファイル転送」機能にて、ファイルをアップロードし、他方がダウンロードして閲覧する。
  - ③ 面接用ソフトの「画面共有」機能にて、デスクトップに提示した文献、写真、図等の内容を他方に共有する。
- (4) 面接の過程は、写真撮影、録音、録画してはならない。ただし、TIPO の許可を得た場合は、この限りではない。
- (5) 面接終了前、審査官は、面接の記録を事前に登録された出席者のメールアドレスに送信、または、面接用ソフトの「ファイル転送」機能にて、面接記録を共有し、出席者はこれを受信・ダウンロードする。出席者は記録内容を確認して当事者欄に署名をし、面接記録を写真またはスキャンして審査官にメール・ファックスにて返送、あるいは署名した面接記録を Web カメラの前に提示、または面接用ソフトの「画面共有」機能にて提示し、審査官がスクリーンショットにて記録・保存する。出席者が署名した面接記録を TIPO に返送しなかった場合、審査官は審査記録または査定書にその旨を記載する。
- (6) 面接の途中で回線の不具合または設備に関する事由により面接の継続が難しくなった場合、審査官は、別途面接の日時と場所を指定することができる。

以上、「専利出願案越境オンライン面接」の内容を紹介した。専利における面接制度は、これまでも、出願人や代理人が審査官と直接コミュニケーションを取り、意見交換を行うことのできる効果的かつ重要な役割を果たしてきた。新たな「専利出願案越境オンライン面接」措置の導入は、地理的・時間的制約を取り除き、また、

移動にかかる時間・コストの削減を可能とするものであり、より多くの出願人および代理人が、オンライン面接を利用することが見込まれる。

#### 【ソース】

- ・2022年3月1日より、新たな措置「専利出願案越境オンライン面接」を実施（中国語）

<https://www.tipo.gov.tw/tw/cp-85-902710-65e97-1.html>

- ・TIPO 越境オンライン面接操作ハンドブック（中国語、PDF ダウンロードリンク）

<https://www.tipo.gov.tw/tw/dl-280757-f24a354ede8b48f89e51c0558753521b.html>

- ・TIPO 専利案件面接作業要点改正説明および対照表（面詢作業改善方案説明）

<https://www.globalipdb.inpit.go.jp/jpowp/wp-content/uploads/2023/03/9cfb3259d61ba7b192ce26ae97023c8f.pdf>

- ・TIPO 専利案件面接作業要点（中国語、PDF ダウンロードリンク）

<https://topic.tipo.gov.tw/patents-tw/dl-276125-67941ce1dbd44bf7ab83c1309d0b49d1.html>

- ・専利出願案件面接申請書記入注意事項（中国語、PDF ダウンロードリンク）

<https://topic.tipo.gov.tw/patents-tw/dl-280800-ee5de824bb334f43beb2f0de3ec5752f.html>

#### 【参考記事】

- ・台湾における特許出願および意匠出願の審査官面接

<https://www.globalipdb.inpit.go.jp/application/15384/>

（編集協力：日本国際知的財産保護協会）